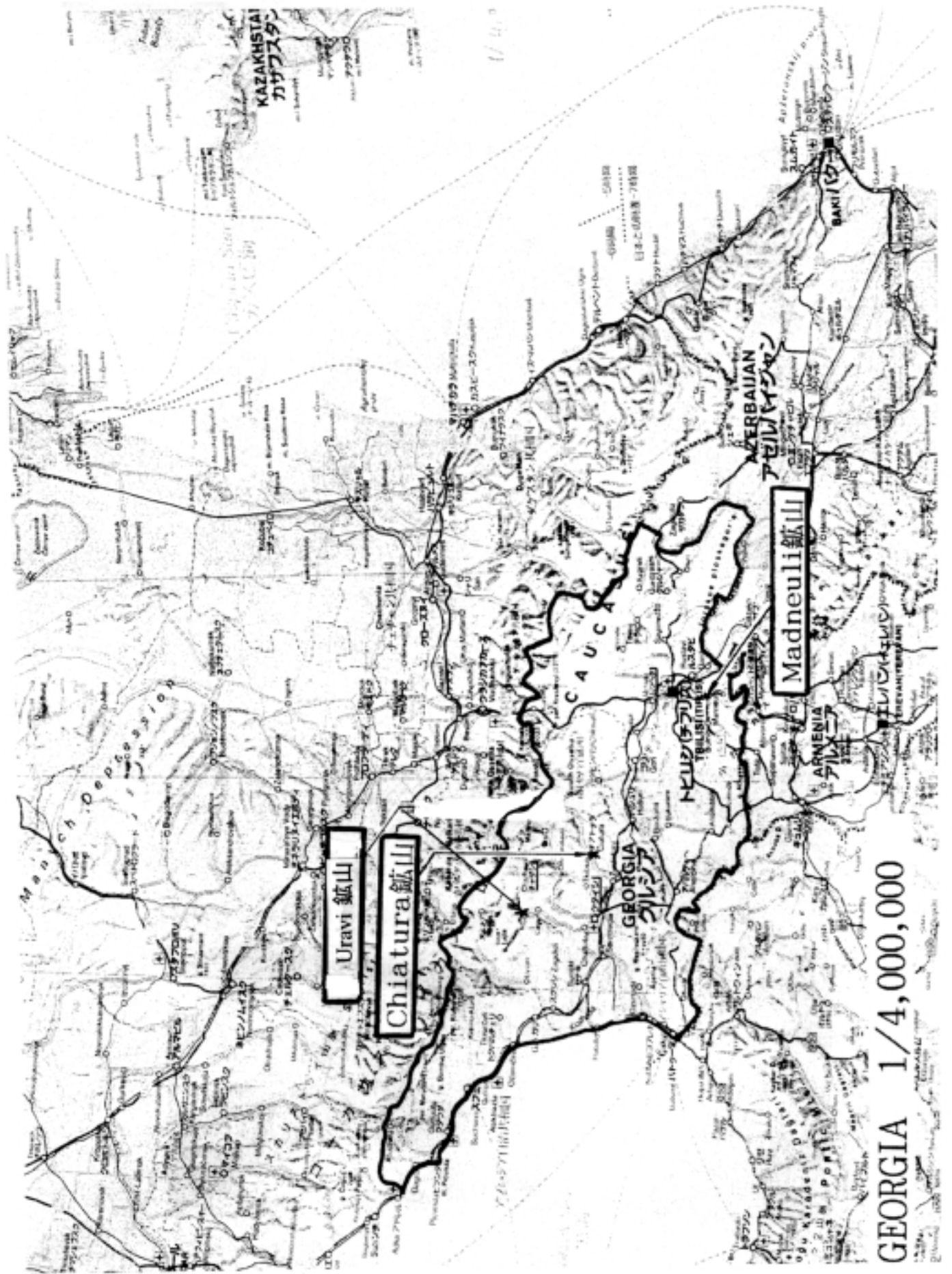


グルジア国
鉍業振興マスタープラン
予備調査報告書

平成 12 年 10 月

国際協力事業団
鉍工業開発調査部



グルジア国地図 (主要鉍山位置)



マドネウリ (Madneuli) 鉱山
オープンピット：長経1300m、短経600-700m、深さ約250m
(ベンチ約15m × 約18段、ピットの傾斜約45度)





選鉱プラント



浮選工程



出荷用の精鉱



テーリングダム



経済産業貿易省との協議



地質局（State Department of Geology）との協議

**グルジア国
鉱業振興マスタープラン
予備調査報告書目次**

関連地図、写真

第1章 総論

1 - 1	要請の背景	1
1 - 2	要請内容	1
1 - 3	予備調査の目的、内容	1
1 - 4	団員構成	1
1 - 5	調査日程	2
1 - 6	主要面談者	2

第2章 協議の概要

2 - 1	対処方針	4
2 - 2	団長所感	4
2 - 3	確認事項要約	7
2 - 4	協議結果（S / W及びM / Mの解説）	10
2 - 5	面談記録	10

第3章 グルジア国の鉱業事情

3 - 1	グルジアの鉱業政策	25
3 - 2	環境保全天然資源省のマスタープラン	26
3 - 3	鉱業に関する各省庁の役割	27
3 - 4	鉱業法（Law of Georgia on Entrails）	27
3 - 5	鉱山保安規則	29
3 - 6	環境保全許可法、及び、その他の関連法	29
3 - 7	鉱業関連税制	29

第4章 調査地域の概要

4 - 1	Madneuli鉱山の概要	31
4 - 2	Chiatura鉱山の概要	31

第5章 本格調査の概要及び留意事項

5 - 1	本格調査の概要	36
5 - 2	本格調査に当たっての課題、懸案事項	36
5 - 3	わが国との共同による鉱山開発の可能性について	37
5 - 4	その他の本格調査にあたっての留意点	39

第6章 安全情報

6 - 1	安全の状況	40
6 - 2	本格調査へ向けての安全対策	40

付属資料

資料 - 1	Madneuli Mineに対する質問事項	41
資料 - 2	Questionnaires Law/ Policy	43
資料 - 3	Survey results(26/07/2000)	45
資料 - 4	“ 鉱物資源経済、及び、それ関連する通報 ” 「グルジア地質学部門とグルジア鉱物資源開発、 及び、生産再開にかかる問題点」(仮訳) 地質学企業ディレクター M.Chokhonelize	47
資料 - 5	Chiatura Mine選鉱実績	52
資料 - 6	グルジア国の鉱物資源	54
資料 - 7	Madneuli Mine選鉱実績	55
資料 - 8	Madneuli Mine選鉱品位	56
資料 - 9	環境保全天然資源省 組織図	57
資料 - 10	署名済みのS / W及びM / M	

第1章 総論

1 - 1 要請の背景

ソ連邦崩壊後の経済的、政治的混迷が続く中で、産業の発展を基盤とした国家財政再建に取り組むグルジア国にとって、旧ソ連時代からのグルジア経済の牽引車としての実績とそのポテンシャルの大きさから、他の産業分野に比べても、鉱業振興は同国の経済基盤の強化や外貨獲得の有力な手段として位置付けられている。特に旧ソ連時代から主要鉱種として優先的に開発が進められたマンガン、銅、鉛に加え、金の推定鉱量を500トンと見込んでおり、非鉄金属の生産体制の確立が、将来の国際鉱業市場においてグルジア国からの輸出を増すための、推進力となることが期待されている。

しかしながら、鉱業振興政策を担う産業省には、民間活力の導入や国営鉱山の経営改善を図るなど、低迷する国内鉱業を活性化するための有効かつ具体的な政策や戦略を策定する能力が十分ではなく、政府の役割の明確化、信頼の回復、関連法整備等による投資環境の整備に加えて、持続的発展のための人材の育成や環境保全等を含んだ「鉱業振興マスタープラン」の策定のための支援は、健全な鉱業の発展を図る上で、効果的であり、時宜を得たものである。

1 - 2 要請内容

金、銅、亜鉛、鉛、マンガン、砒素についてのグルジア国における資源ポテンシャルの状況、鉱山開発の現状、鉱業法の概要、改革の動向、市場経済体制への移行状況、関連インフラの整備状況、環境問題とその取り組み状況などを調査し、モデルプロジェクト（鉱山）を含む興行振興のためのマスタープランを作成する。

1 - 3 予備調査の目的、内容

本予備調査においては、これまでのプロジェクト形成調査結果などをふまえ、現地調査を通して、先方政府の要請内容を確認し、本格調査を実施する場合の意味付け、妥当性について、関連機関と協議を行い、今後の本格調査の範囲、内容、安全確保などの双方の役割分担などについて、S/W,M/Mにとりまとめる。

1 - 4 団員構成

- | | | |
|---------|--------|---------------------------------------|
| (1)谷川和男 | 総括 | JICA専門技術囑託 |
| (2)松尾弘子 | 技術協力計画 | 外務省欧亜局新独立国家室 |
| (3)黒川清登 | 調査計画 | JICA鉱工業開発調査部資源開発調査課 |
| (4)池田則生 | 資源開発 | 三菱マテリアル資源開発株式会社 |
| (5)熊谷研一 | 鉱業政策 | Industrial Service International Ltd. |
| (6)堀内敏夫 | ロシア語通訳 | 財)日本国際協力センター |

1 - 5 調査日程

- 7月16日(日) 成田 モスクワ(谷川、黒川、松尾、堀内)
7月17日(月) 在ロシア日本大使館：対処方針の説明、安全対策確認。
成田 ウイーン トビリシ(18日着：池田、熊谷)
7月18日(火) モスクワ トビリシ(谷川、黒川、松尾、堀内)
経済産業貿易省：本案件の概要説明
7月19日(水) Crown Agents(英国)：活動状況ヒアリング
経済産業貿易省：本案件の概要説明
外務省：本案件の概要説明、組織変更後の役割等のヒアリング
環境保全天然資源省：本案件の概要説明、所管事項の調査、鉱区管理状況
7月20日(木) 経済産業貿易省(Working Group)：調査内容等ヒアリング
7月21日(金) Madneuli 鉱山：鉱山の設備、施設、操業状況等の現状調査
7月22日(土) 資料整理
7月23日(日) 団内会議、S/W,M/M作成
7月24日(月) 経済産業貿易省(Working Group)：S/W,M/M協議
Investment Centre, Investment Agency：
投資環境の整備状況、最新情報入手
鉱業機械科学アカデミー：鉱山関連機器の状況ヒアリング
7月25日(火) 経済産業貿易省(Working Group)：S/W,M/M協議
7月26日(水) 欧州開発銀行：活動状況ヒアリング
経済産業貿易省他関係各省：S/W,M/M署名
7月27日(木) トビリシ ロンドン(谷川、黒川、池田、熊谷、堀内)
トビリシ バクー(松尾)
7月28日(金)(谷川、黒川、池田、熊谷、堀内) JICA英国事務所報告、金属鉱業
事業団ロンドン事務所で補足調査。ロンドン 成田(29日着)
(松尾)：在バクー日本大使館へ調査結果報告
7月29日(土)[松尾] バクー フランクフルト 成田(30日着)

1 - 6 主要面談者

経済産業貿易省

Mr. David Zubitashvili (次官) George Japarijze (Director of Department), George Kemoklidze (Deputy Director of Department)
Mr. Serge Toprakashvili (Head of Department),

外務省

Mrs. Tamar Beruchashvili 外務次官
Mr. Kakha Kalmakhelidze 経済協力局長

環境保全天然資源省(Ministry of Environmental Protection and National Resources)

Mrs. Nino Chkhobadze (Minister) ,

Mr. Zurab Kutelia (Head of Department, Mineral Resources' Protection and Mining) ,

Mr. Zaal Lamtadze (Head of Environmental Policy)

地質局 (State Department of Geology)

Dr. Tamaz V. Janelidze (Chairman),

Dr. Vaja I. Buadze (Vice Chairman),

Dr. Micheil Tchokhonieli (Director of Treasury's Enterprise)

グルジア投資庁(Georgian Investment Agency)

Mr. Otar Sabakhtarishvili

グルジア投資センター(Georgian Investment Centre)

Mr. Saba Sarishvili, Director

EBRD (欧州開発銀行) トビリシ(Tbilisi)駐在員事務所

Mr. Jurgен Schramm 所長

在モスクワ日本国大使館

島桂一 2等書記官

川岸由紀子 3等書記官

JICA英国事務所

神谷弘司 所長

小野修司 次長

原純子 企画調査員